

## ドラッグインフォメーション実務特論

責任者・コーディネーター	臨床薬剤学講座 高橋 勝雄 教授		
担当講座・学科(分野)	臨床薬剤学講座		
対象学年	6	区分・時間数	講義 15時間
期間	前期		
単位数	1単位		

### ・学習方針（講義概要等）

有効性と有害作用を併せ持つ医薬品を使用するにあたって、患者個々に対して有効性を十分に引き出すような使用方法（医薬品の適正使用）を行うためには、医薬品が根拠のある情報に基づいて使用され、その情報が患者に正しく理解されて伝わる必要がある。本講義では、実務に則した医薬品の適正使用に必要な情報の収集・評価・伝達について具体的に学ぶ。

### ・一般目標（GIO）

医薬品を適正に使用するために必要な情報を医療チーム及び患者に提供するために、医薬品情報ならびに患者から得られる情報の収集、評価、加工などに関する知識、技能、態度を修得する。

### ・到達目標（SBO）

1. 医薬品情報とそれを取り巻く法律、制度を説明できる。
2. 医薬品情報の流れの特徴を説明できる。
3. 医薬品としての必須の情報を列挙できる。
4. 医薬品情報源の一次資料、二次資料、三次資料について説明できる。
5. 代表的な医薬品情報データベースを列挙し、それらの特徴を説明できる。
6. 緊急情報（緊急安全性情報など）の取扱方法を説明できる。
7. 患者、医療スタッフへの情報提供における留意点を列挙できる。
8. 基本的な医薬品情報（警告、禁忌、効能、副作用、相互作用など）を収集できる。
9. 処方内容、薬歴簿などから得られる患者情報を的確に把握できる。
10. 入手した情報を評価し、患者に対して適切に説明できる。
11. 患者情報の取扱いにおいて守秘義務を遵守し、管理の重要性を説明できる。
12. 医薬品添付文書に記載されている項目の意味について説明できる。
13. 医薬品添付文書から患者に応じた情報を把握できる。
14. 医薬品添付文書の情報から薬物動態等を予測できる。

### ・講義日程

(矢) 東 201 2-A 講義室、(矢) 東 202 2-B 講義室

月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	講義内容
4/20	金	1	臨床薬剤学講座	藤原 邦彦 准教授	医薬品情報と法律・制度 医薬品適正使用のための医薬品情報
4/27	金	1	臨床薬剤学講座	藤原 邦彦 准教授	医薬品情報の検索手段 医薬品情報の収集と評価
5/11	金	1	臨床薬剤学講座	藤原 邦彦 准教授	医薬品情報の収集と評価 医薬品情報の伝達

月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	講義内容
5/18	金	1	臨床薬剤学講座	藤原 邦彦 准教授	病院における医薬品情報業務
5/25	金	1	臨床薬剤学講座	藤原 邦彦 准教授	保険薬局における医薬品情報業務 セルフメディケーションと医薬品情報
6/1	金	1	臨床薬剤学講座	工藤 賢三 准教授	医薬品添付文書の見方
6/8	金	1	臨床薬剤学講座	工藤 賢三 准教授	医薬品添付文書の活用
6/15	金	1	臨床薬剤学講座	藤原 邦彦 准教授	演習 (1) 医薬品情報収集と評価
6/22	金	1	臨床薬剤学講座	藤原 邦彦 准教授	演習 (2) 病院での医薬品情報収集と提供
6/29	金	1	臨床薬剤学講座	藤原 邦彦 准教授	演習 (3) 薬局での医薬品情報収集と提供

・教科書・参考書等（教：教科書 参：参考書 推：推薦図書）

	書籍名	著者名	発行所	発行年
参	医薬品情報・評価学	川島 進 他 編	南江堂 (定価 4,500 円)	2011
参	医薬情報評価学	山田 安彦 編	医学書院 (定価 4,500 円)	2009

・成績評価方法

講義の出席状況、定期試験、小テスト、レポートなどから総合的に判断する。

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	パソコン (パナソニック CF-W9JWE CDS)	1	スライド投影